

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

3月3日（土）、大槌町立大槌中学校を訪問しました。

仮設校舎の一室で練習する吹奏楽部の活動を見させていただきました。健気でひたむきな姿に涙し、「自分にできることは何か」を改めて考えました。

3月11日（日）は、皆さんも様々な思いでこの日を迎えたことと思います。

私は、午後、大槌町からの避難者を迎えて花巻市において開催された支援団体主催の追悼集会に出席し、夕方からは約2万個の灯籠に火を灯す盛岡広域市町村長懇談会主催の「祈りの灯火」に参加してきました。

1年前の“あの”震災ではなく、復興のその日まで続く“この”震災であることを胸に刻み込むために・・・。

< 目 次 >

- 1 【 教振運動 】 学校教育と社会教育の連携
 - 2 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

1 【 教振運動 】 学校教育と社会教育の連携

県教育委員会は、県の総合計画である『いわて県民計画』に掲げられる教育分野の今後10年間（H30まで）の基本方針を『岩手の教育振興』として策定しています。

その具体的な取組のひとつとして、「教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進」を位置づけ、“目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軸を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進する”こととしています。

また、本県の義務教育の方針を定めた『これからの岩手の義務教育（学校教育指導指針）』では、“各学校においてそれぞれが設定した「まなびフェスト」を教職員と児童生徒、家庭・地域が共有し、協働して達成に努める”ことや“家庭・地域との信頼関係を構築するとともに、教育振興運動など学校と家庭、地域との協働の取組をそれぞれの学校の実情に応じて位置づけ、家庭・地域の

教育力の向上を図る”ことを明記しています。

学校教育と社会教育が子どもの現状（課題意識）を共有し、学校教育（まなびフェスト）と社会教育（教育振興運動の全県共通課題等）を連動させて軸を一にして展開することにより、地域ぐるみで子どもを育てる環境や家庭・地域の教育力の向上を図ることを目指しているのです。

ところが、平成23年度教育振興運動推進状況調査によると、教育振興運動の全県共通課題として提案している“家庭学習の充実”を「まなびフェスト」に位置づけている小中学校は487校、“読書活動の推進”を「まなびフェスト」に位置づけている小中学校は455校でした。（県内小中学校数557校〔本校〕、被災により大船渡市、陸前高田市、大槌町は未回答）

更に同調査では、地域の教育課題について、36.4%の市町村・地区が「学校・家庭・地域の連携が不十分である」と回答しています。

「子どもの教育は学校任せ、家庭任せ」では、地域ぐるみとは言えません。地域ぐるみで子どもを育てるとは、行政が“自分たちの市町村の将来を担う子どもたちをどのような人間に育てたいのか”というビジョンを示し、学校や家庭の取組を地域が支えること・・・を言うのではないのでしょうか。

家庭学習や読書活動の数値目標を「まなびフェスト」に位置づけ、教育振興運動として子ども自身・家庭・教員・地域・行政がその目標を達成するために何をすべきかを明確にし、情報交換を密にして取り組めば、「連携の不十分」や「活動者が限定される」という課題は解決されるはずです。

地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるために、また、教育振興運動を進めるうえでの課題を解決するために、そのはじめの取組として「まなびフェスト」と「教育振興運動の全県共通課題等」を連動させた取組を実施していきましょう。

『岩手の教育振興』はこちら

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?cd=25203>

『学校教育指導指針』はこちら

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/view.rbz?of=1&ik=0&cd=17459>

2【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

（教ちゃん）皆さん、お待たせしました！教育振興運動のイメージソングが完

成しました。

(振ちゃん) タイトルは、『 Hand In Hand 』と言います。

★歌詞はこちら

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/song_handinhand.pdf

(教ちゃん) 歌詞の入選者の皆さんの学校・地域を、清心さんが訪問してイメージソングを披露するミニ・コンサートも行われているのよ。

(振ちゃん) 3月6日(火)の大船渡市立大船渡中学校でのミニ・コンサートは、NHK、テレビ岩手、めんこいテレビでニュースになったよ。

(教ちゃん) 3月7日(水)の盛岡市立北松園小学校でのミニ・コンサートには、盛岡タイムスが取材にきていたわ。

(振ちゃん) このあと、13日(火)は岩泉町立小川中学校で、14日(水)は花巻市立桜台小学校で、18日(日)は奥州市メイプルでミニ・コンサートが行われることになっているんだ。

(教ちゃん) 楽しみに待っていてくださいね。

(振ちゃん) 早くCDが出来ないかな・・・。

(教ちゃん) そうね。CDが出来たら、県内すべての小中学校にお届けしますので、朝の放送や給食時間などの校内放送で流して欲しいわ。

(振ちゃん) 教育振興運動推進協議会や市町村教育委員会にもお届けするので、地域の集まりや行事の時に流して、紹介してください。

(教ちゃん) なんとって、目標は紅白歌合戦への出場ですから・・・。

(振ちゃん) 違うでしょ。県内の皆さんが口ずさむ歌にしていこうことです。

3【編集後記】あつしのひとりごと

以前紹介しました、社会科の先生がツボにはまる地球儀を使った地名ダジャレ芸人“ゴー☆ジャス”さん に続きまして、あつしの“お薦め芸人コーナー第2弾”です。(いつからコーナーになったんだよ！)

2月2日の「ア○トーク」という深夜番組で、読書好き芸人のリーダーをしていましたお笑い芸人ピースの又吉直樹さん(現在31歳)は、中学生で本にのめり込み、これまでに読んだ本はおよそ2,000冊。(そりゃ、すごいな！)

その又吉さんのエッセー集「第2図書係補佐」(幻冬舎よしもと文庫)は、出演していた劇場のフリーペーパーに掲載していた又吉さんの読書案内をまとめたものです。(最近の芸人は、すぐに本を出しますからねえ！)

お笑いを見るために劇場に足を運んだお客さんに「本気で本を読んでもらおう」と又吉さん自身の体験を絡めて書かれたその文章を読むと、思わずニヤッとしたり、ホロッとしたり・・・。(グッとくる本なんですねえ。)

私も自分の高校・大学の頃を思い出して、思わず歌を歌いたくなってしまいました。(ほう・・・。どんな歌ですか。)

「わ～かく、明るい歌声に～」(今、何歳だよ！)

※注 () は、さま～ずの三村さん風につっこんでください。

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

感想・意見・要望はこちら。⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第65号は、3月27日(火)配信です。

★バックナンバー(第1～63号)はこちら。

⇒ http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/merumaga_backnumber.html

★全県共通課題(家庭学習と読書推進)の実践事例はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/zenkenjirei.html>

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ <http://www.pref.iwate.jp/~hp1595/kyousin/shoukaijirei.html>

～～～配信元～～～

*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士(さとう あつし)

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

～～～